

目標達成計画

作成日 : 平成23年12月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	プライバシーと安全に配慮した入浴体制について施設としては同性介助を目標にしているが、入居者とスタッフの男女比が違うので、入浴・フロア対応・その他の業務のローテーションのバランスが難しい。今以上に利用者の希望や価値観に沿える業務の工夫が必要。	入居者の希望や価値観に合わせ、かつ安全性を考えた入浴体制作り	安全で、かつ、入居者の希望や価値観を尊重し、取り入れられる入浴体制を確立する ・業務交代が発生する際に4名体制を当てる様にし、スタッフの業務負担の軽減を図りながら、同性介助が行える様にする。(介護力が必要な時に体制を厚くする工夫) ・限られた人員でも入浴介助に集中できる業務体制を考えてみる。	12ヶ月
2	6	地域へ周知、関係作りを深め、地域との協力体制をより明確化・整備し、利用者・地域住民協力の基、安全性を確保していくように努める。	災害時のために周辺施設への応援体制を整えておく	地区自治会への要請に出向く。当ホームの見取り図などを確認してもらって地区消防団との交流をもつ	12ヶ月
3	34	急変時・事故発生時の対応訓練が少ない。	本社の研修・訓練だけではなく、グループホーム会議時にも行い、自信をつける	テーマを決め、定期的に勉強会を行う。一人ずつ実際にシミュレーションを行ってもらい、皆で確認し合う。	12ヶ月
4	2	地域のイベントや、街角へ出かけていく機会を現状より増やしたい	イベントや外出を通じ、地域のボランティアの方と入居者また、スタッフの繋がりを深める。	スタッフ一人ひとりがアンテナを広げ、来ていただけるボランティア、地域の催しや出かけられる場所の情報収集・交渉を行う。まずは3ヶ月に一度を目標とする	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。